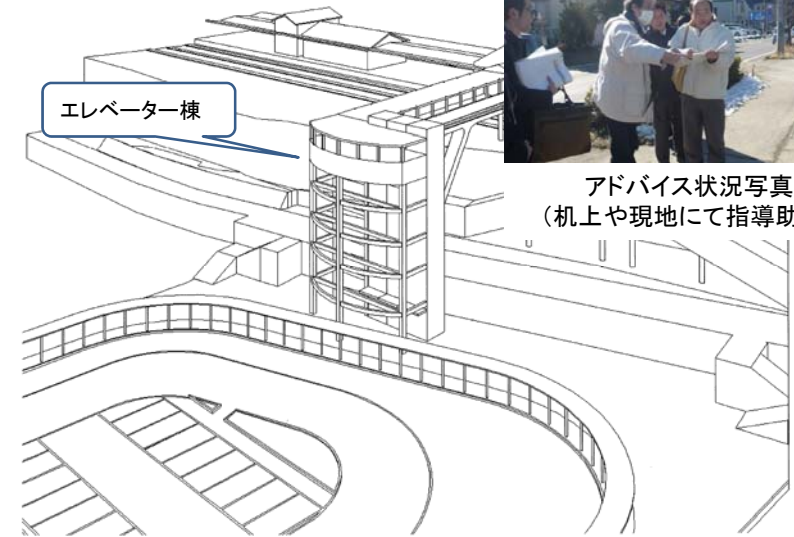


〈市町村事業〉 景観アドバイザー活用事業の成果 事例 「上野原市 駅周辺整備」

- 上野原駅周辺整備計画に基づき、駅南口を整備するもの(H29供用予定)
- 計画のコンセプトは、「桂川をのぞむ景観の中で、人の賑わいや温かみを感じるまちの実現」
- 当初計画に対する主なアドバイスは、
 - ・圧迫感の軽減
 - ・エレベーター棟のデザインは単一としない。(全面壁は×)
 - ・ルーバーを間引いて設け、単一感をなくす。
 - ・ルーバーの部材は大きくかつ、それぞれに隙間を作り、遠くからもきめが分かるようにすると、陰影で建物のボリューム感を抑えられる。
 - ・擁壁や階段の壁の面は、できるだけ見えないような工夫をする(植栽等により隠す)。 など
- アドバイスを受け、
 - ・ルーバー等の設置によるエレベーター棟の圧迫感の軽減
 - ・植栽等により擁壁等を極力見せないような工夫 など

【当初計画素案】



アドバイス状況写真
(机上や現地にて指導助言)

【山梨日日新聞の掲載(H26.6.26)】

**上野原駅前整備の概要固まる
南口に公共交通集約**

上野原市が整備するJR上野原駅南口の駅前広場と、駅の南の県道から広場へのアクセス路の概要が固まった。南口に、広場から駅につながるエレベーターを設置し、北口にあるバスターミナルを南口に移転する。観光情報を発信する施設やイベントスペースも設け、地域活性化につなげる。

2018年度までの整備完了を目指すという。市都市整備課によると、整備するのは、駅前広場と駅南口の県道から広場につながる市道約5千平方メートル。南口に高さ17メートルのエレベーター3基を設置し、いずれも15人乗りで車いすが転回できるスペースを確保する。エレベーターの西側には多目的トイレも整備する。

JR上野原駅南口駅前広場の完成予想図

側につくる待合室とエレベーターの壁をガラス張りにし、観光客らが桂川など市内の眺望を楽しめるようにする。バスターミナルや一般の送迎車が混在する北口での交通事故を避けるため、公共交通を南口に集約。タクシーの待機場所とバス乗り場を設ける。バス乗り場から駅構内までの約100メートルの歩道には屋根を設け、雨天時の利便性を高める。トイレが駅構内にはかないため、エレベーター横に多目的トイレも整備する。

エスカレーター西側には市内の観光をPRする施設を設置。広場の北東の階段は扇状に、イベントも開催できるように、イベントも開催できるようにしたい」としている。

早ければ15年度から着工する予定。利用者が寄せられる早期整備の要望が寄せられているエレベーターは前倒しで着工することも検討している。

【最終的な計画】

